

Igor Petrushevski イゴール・ペトルシェフスキー



ペトルシェフスキーは、優れたヴァイオリン指導者としてヨーロッパで広く知られており、彼の生徒は、チャイコフスキー国際コンクール、パガニーニ国際コンクール、ロン＝ティボー国際コンクール、ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクール、ロドルフォ・リピツァー賞国際ヴァイオリンコンクール、インディアナ国際ヴァイオリンコンクール、ヘンリック・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクール、ケルン国際音楽コンクール、ティボール・ヴァルガ シオン国際ヴァイオリンコンクール、ポスタッチェニ国際ヴァイオリンコンクール、ハノーファー・ヨーゼフ・ヨアヒム国際ヴァイオリンコンクール、ロベルト・カネッティ国際ヴァイオリンコンクール、ジョルジュ・エネスク国際コンクール、ヴァルセージア国際音楽コンクール等、著名なコンクールにて入賞し、マキシム・ヴェンゲーロフ、クシシュトフ・ペンデレツキ、ウラディーミル・ユロフスキ、クリスチャン・ヤルヴィ、シュロモ・ミンツ、ミッシェル・マイスキーと協演している。

リヒャルト・ワーグナー音楽院(ウィーン)教授。エレバン音楽院名誉教授。英国国立音楽院で 15 年間教鞭をとり、門下生の中から著名な国際コンクールの入賞者を輩出している。

世界各国で数々のラジオやテレビに出演する。20 年以上にわたり、イタリア、フランス、オーストリア、イギリス、旧ユーゴスラビア、ロシア(モスクワ音楽院)、ソフィア王妃高等音楽院(スペイン)、北アメリカ、南アメリカ、中国(北京音楽院)、日本、韓国等でマスタークラスや主要なコンサートホールでの演奏を行っている。また、イタリア、イギリス、モンテネグロ、オーストリア、韓国、アメリカの音楽祭にてアーティスト・イン・レジデンスを務める他、定期的にヴァイオリンや室内楽のマスタークラスを行っている。

門下生には、アメリカ、ロシア、イギリスの著名なオーケストラに在籍していたり、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・オペラ・ハウス管弦楽団等の主要なオーケストラと協演したりする他、ソリストとしての国際的な地位を確立したり、世界各国の大学にて教鞭をとっている。

インターナショナル・アカデミー・オブ・ウィーン芸術監督を務める。彼の人生や仕事について語られているドキュメンタリー映画は、20 か国以上で放映されている。

サンタンデル音楽祭、モーツアルテウム・サマーアカデミー、ベートーヴェン・イースター・フェスティバル、エネスク音楽祭、アレグロ・ヴィーヴォ国際室内音楽祭等の主要な音楽祭に招聘される。2019 年に、オーストリアで最高額の賞金が授与される、ウィーン・クラシック・ストリングス・コンクール&フェスティバルの審査員および芸術監督を務める。2019～2021 年シーズンには、ジョルジュ・エネスク国際コンクール、ベオグラード国際青年音楽コンクール、大阪国際音楽コンクール、ハチャトゥリアン国際コンクールに招聘されている。